

【接着工法】

▶接着強度試験データ P.34

磁気タイル、ガラス、大理石など穴開けが困難な床下地に最適な工法です。

【適応床材】・石材 ・磁器タイル ・ガラス ・塩ビタイル ・長尺シート ・フローリング 等

- 1 取付床面のホコリ、汚れ、油分、水分などを十分に除去する。
(油分はアルコール等で除去する。)
- 2 墨出し後、専用ゲージ(ボール紙製)を床に当てマーキングする。
- 3 2液製の専用接着剤(P.23)を1対1で白くなるま十分に混ぜる。
- 4 紙の裏面に専用接着剤を適量塗布する。
- 5 床に取り付け、指で強く圧着する。
- 6 はみ出した接着剤は、アルコール等でよく拭き取る。
- 7 十分硬化したら完成。



2



3



4



5

※接着工法ではジェットバーナーの床材、また凹凸のある床材には使用できません。

※目違いのある床等での使用しないでください。

※車等が乗り入れる場所では使用できません。

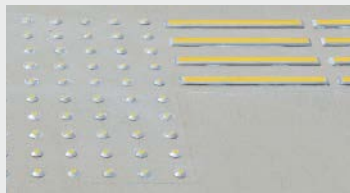
《接着剤EP-1000 (P.23) の使用上の注意》 (浅埋工法・接着工法共通)

※接着剤の硬化時間は【夏:6時間/冬:12時間(室内)】を目安としてください。

※接着剤の貼付け可能時間は10℃で約50分・20℃で約30分です。10℃以下では接着剤の硬化が極端に遅くなるため、室温をヒーター等で加温してください。硬化時間:2時間ほどで動かなくなり、24時間~48時間で完全硬化します。

※主剤、硬化剤の取り出しは別々の道具(金ヘラ、ポリベラなど)を使用してください

※混合していない容器に残った接着剤は、1ヶ月以内にご使用ください。保存する場合は、暗所、低温場所で日光などの当たる場所は避けてください。(保存温度:10℃~25℃)



施工イメージ